2022年６月10日　百日咳について

こんにちは、もりもりキッズ・アレルギークリニックです。
百日咳とは、どんな病気かご存じですか？百日咳とは、せき、くしゃみなどの飛沫で百日咳菌という細菌が体内に入って起こる感染力の大変強い病気です。
主な症状は咳です。最初は鼻水や軽い咳といった普通の風邪と似たような症状ですが、コンコンと苦しい咳が立て続きに起こり、約 1～6 週間くらい続きます。
新生児でも感染することがあり、重症化につながる危険があるので、感染を予防するために生後３か月～四種混合ワクチンを接種します。
ですが、百日咳に感染した人のうち６割以上が小中学生の子供で、そのうち８割が小児期にワクチンを接種しているお子さんです。
百日咳に対する抗体が時間がたつにつれて低下していますので、抗体価を上げ免疫を維持するためにも当院では年長さんで接種するMRワクチン(おたふくワクチン)と同時に三種混合ワクチンの接種をおすすめしています。任意接種になりますので、自費で￥5000になります。
おたふくワクチン(￥6000)と同時接種していただくと割引もありますのでご気軽にご相談ください。